

議題 5 (委員会決裁事項 (規則第 3 条第 1 号))

府立箕面高等学校の学科改編について

平成 28 年度より、府立箕面高等学校の学科改編について、別紙のとおり決定する。

平成 26 年 12 月 22 日

大阪府教育委員会

府立箕面高等学校の学科改編について

1 改編のねらい

- 「大阪府教育振興基本計画（平成 25 年度）」において、大阪府は「社会のリーダー層やグローバル人材に必要な資質・能力の育成」を打ち出し、グローバルリーダーズハイスクールや国際関係学科の充実とともに、英語教育・理数教育の充実を掲げている。
- 府立箕面高校は国際教養科設置校の中で唯一「骨太の英語力養成事業」の指定を受けており、外部の民間企業と連携した特設講座など、TOEFL-iBT を導入した英語教育を積極的に展開している。
- グローバル時代を生き抜く生徒の育成のため、府立和泉高校の成果を踏まえ、今回新たに北摂地域にある箕面高校の国際教養科を改編し、国際科（グローバル科）を設置するものである。

2 改編の内容

(1) 考え方

- 実践的な英語力を伸張させ、グローバル社会で活躍する能力と態度を備えた人材の育成を図る。
 - 実践力、思考力など、※「21世紀型能力」を身に付け、海外大学への進学を視野に入れた幅広い進路選択を可能とする。
- ※21世紀型能力：実践力（自立的活動力、人間関係形成力）、思考力（問題解決・発見力、創造力、論理的・批判的思考力）、基礎力（言語スキル、数量スキル、情報スキル）から構成される、これからの時代に求められる力（国立教育政策研究所 平成 24 年度プロジェクト研究「教育課程の編成に関する基礎的研究」報告書より）

(2) 学科の改編

改編前		改編後	
1・2・3年生		1・2・3年生	
学科	人数 (学年)	学科	人数 (学年)
国際教養科	80人	国際科 <u>(グローバル科)</u>	80人

(3) 教育内容

- 国社数理英の5教科を軸に、文系・理系ともに対応したカリキュラムを編成する。
- スーパーイングリッシュティーチャー（SET）を活用し、TOEFL-iBT を取り入れた英語4技能の向上をめざしたカリキュラムや教材を開発し、生徒の実践的な英語力の定着を図る。
- ディスカッションやディベートを授業に積極的に導入し論理的思考力や問題解決力を育む。
- 国際科（グローバル科）において効果検証した上で、普通科においても可能な範囲で展開を図っていく。

3 今後のスケジュール

平成 26 年	12月	教育委員会会議（学科改編公表）
〃		学科改編準備委員会設置
平成 28 年	3月	平成 28 年度入学者選抜
〃		大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正

府立箕面高校の学科改編について

～実践的な英語力や論理的思考力を駆使し、グローバル社会で活躍する人材の育成～

改編の目的

豊かな語学力、コミュニケーション能力、論理的思考力や健全な批判力を身に付け、グローバル社会で国際的に活躍する能力と態度を育てるために、国際教養科（2学級）を国際（グローバル）科（2学級）に改編する。

＜改編の特徴＞

- ・ 5教科を軸に、理系志望者の増加を見据えたカリキュラムを編成する。
- ・ 外部の民間企業と連携して新しい英語のカリキュラムや教材を開発し生徒の実践的な英語力の定着を図る。
- ・ *21世紀型能力を身に付け、海外大学への進学を視野に入れた幅広い進路選択を可能とする。

＜課題＞

- 国際教養科の枠組みの中で、国・社・英が中心の教育課程となっているため、理・数を含む5教科をしっかりと身に付けさせることが不十分である。
- 英語とともに他の外国語（中、韓、西、仏）も学習しているが、国際社会で活躍できるだけの英語力を身に付けさせるには至っていない。

＜現状＞

- 箕面高校は、国際教養科併置校6校の中で唯一「骨太の英語力養成事業」対象校であり、平成27年度からSETを配置し、TOEFL iBTを扱った授業を開始予定である。
- 生徒・保護者からも理数教科の充実を望む声が増えている。

改編後 国際（グローバル）科

＜教育課程のポイント＞

- 5教科をしっかりと学習し、21世紀型能力を身に付けられる教育課程を編成する。
- TOEFL iBTを取り入れた授業を行う。
- 英語に関する特色ある科目を設定する。
- カリキュラムをグローバル科でモデル実施・検証した上で、普通科にも広げていく。

＜特色ある教育活動＞

- TOEFL iBT 特設講座
- 海外スタディツアー
- 留学生の積極的な受入れ

【具体的な授業のイメージ】

(21世紀型能力)

- discussion、debateの積極導入
- ホワイトボードミーティング

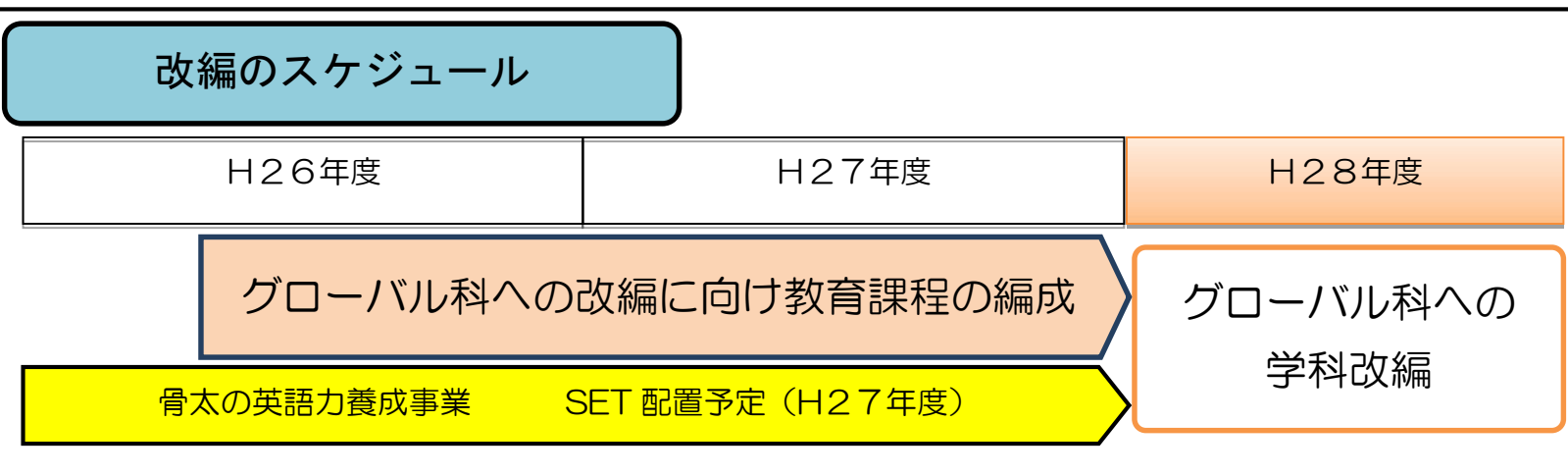
(実践的な英語力)

- 英語4技能教育システムの開発
- all Englishのe-learning導入

文系の生徒には国公立国際系、外国語系大学に合格できる力を身に付けることをめざす。

(卒業後の主な進路)
 文系・理系を問わず、国内及び海外の大学への進学を想定

理系の生徒には世界トップレベルにある日本の科学技術について英語で世界に発信できる力を身に付けることをめざす。



＜改編に伴う新たな予算＞

既存の事業費で対応

- ・ 骨太の英語力養成事業
- ・ 学校経営推進費

国立教育政策研究所

※ **21世紀型能力とは**

- 実践力…自律的活動力、人間関係形成力
- 思考力…問題解決・発見力、創造力
論理的・批判的思考力
- 基礎力…言語スキル、数量スキル、情報スキル

(平成24年度プロジェクト研究「教育課程の編成に関する基礎的研究」報告書より)